



議会だより

北栄

北栄町議会
31
平成26年2月



新体制スタート!!

P.2

出前座談会

P.4

質疑あれこれ

P.7

町政ここを問う

P.8

9月議会ダイジェスト

P.21



北栄町議会

検索

<http://www.e-hokuei.net>

新体制スタート!!

平成25年10月23日、初議会が招集され正副議長、各常任委員会委員、監査委員、中部ふるさと広域連合及び後期高齢者医療広域連合の各議会議員の選出を行い、北栄町議会の第3期目の新体制がスタートしました。町長・町議の任期は、同月23日から平成29年10月22日までの4年間です。

○内の数字は当選回数を表しています。

議長

井上信一郎〔無所属〕**③**

まちづくりは行政と議会、そして町民の皆さんと協働してつくっていくものです。

今後、10年以内には山陰道の町内区間も開通すると言われています。道ができる地域は変わります。北栄地区に商業施設の進出も計画されており、行政と一体となり実現に向け努力していきます。



副議長

浜本 武代〔無所属〕**③**

町民とともに歩む議会として、多くの方々と意見交換できる「出前座談会」を充実し、信頼される議会になるため議会改革に取り組みしていきます。



北栄町の子どもの将来に向けて、この3期目は町民、議会、行政が信頼しあい力を合わせ町づくりをしていく。自らの町は自らの手で創り、守り育てると強い気持ちで協働の町づくりを実行していく。町民の半数の女性が今こそ力を合わせ、自治会などリーダーとして参画していく。この参画が大きな力となり町づくりに貢献でき、私たちの誇れる北栄町になれると信じています。

町民のみならず、町のイベントや事業には参加してください。

田中 精一〔無所属〕**①**

初議席の感激を終生忘れることなく、負託された職責を誠心誠意全うします。「町民主権」「公平・公正」「法令遵守」を堅持し、「人と自然が共生し確かな豊かさを実感するまち」づくりに邁進します。やるべきことは、キツチリやります。

池田 捷昭〔無所属〕**③**

厳しい変革の時代、短期的には「町民の暮らしを守るための徹底した行政改革と産業振興」長期的には山陰道開通後を見据えた大きな視点から県内、中部地区の中の北栄町の位置づけと発展に取り組みします。

山下 昭夫〔無所属〕**③**

消費税の値上げ、国家の安全、TPP、行財政再建、教育問題、社会福祉の充実等、懸念される困難な課題に対して真摯に取り組んでいきます。

前田 栄治〔無所属〕**③**

今期は、庁舎統合や財政の問題が重要課題になってくると思います。町民の皆さんと信頼を築くためには、対話や交流による情報公開が大事だと考えています。

森本真理子〔無所属〕**①**

住民目線で北栄町の町づくりを考えていきます。若者が夢をもって定住し、安心な家庭が作れる町づくりを目指します。

宮本 幸美〔無所属〕**③**

躍進を続ける町を築くため、町民主体の町づくりと一緒に、厳しい財政運営ですが支障のないよう行政、議会、町民と共に町の発展を、更に地域と歩む力を育てることに頑張ります。

町田 貴子〔無所属〕**②**

住民が主役！
町民の皆さんの声に耳を傾け、元気で明るく、住みやすい北栄町を目指します。
生活の安定、子育て、教育環境、高齢者や障がい者が安心して暮らせる福祉、介護の充実を図ります。
みんなで進めましょう。

斉尾 智弘〔公明党〕**①**

調査なくして、提案なし。現場主義に徹し町民の皆様と一緒に、問題解決を目指します。また町財政の見える化を目指します。「人の不幸の上に自分の幸福を築かない」という社会に！

阪本 和俊〔無所属〕**③**

少子高齢化、人口減が急速に進行中、子育て支援、教育や農業の環境整備、高齢者福祉の向上として次世代に負担を先送りせず、財政の健全化を図り、若者が夢と希望を持って喜びと誇りの持つ地域へへつに努めます。

油本 朋也〔無所属〕**①**

初登庁から3か月余り、少しでも早く戦力となるよう努力の毎日です。皆様との繋がりを大切にし先入観のない公平で広い視野と、大切な声を素直に聞く耳を持って、町のセールスマンとして力を発揮していきたいと思

飯田 正征〔無所属〕**②**

奉仕・公平・誠実、感謝の精神をモットーに、町民の声が町政に反映されるよう全力を注ぎます。
そして、「人が人として、しあわせに暮らせる」安全・安心なまちづくりに、本気で取り組みます。

長谷川昭二〔共産党〕**③**

年金の削減や所得が低迷する中、物価の高騰、公共料金の負担増に加えて消費税増税も迫っています。私は、こうした悪政から住民の暮らしを守ることを第一に取り組んで参ります。

津川 俊仁〔民主党〕**③**

人権の世紀が実感できる社会の実現のために、生活者・労働者・町民・生活弱者に優しい町政を目指します。議会推薦の監査委員の立場を十分に活かし、適性かつ効率の良い町政運営の提言をしていきます。

委員会構成

議会運営委員会

- 委員長 宮本 幸美
- 副委員長 津川 俊仁
- 委員 田中 精一
- 委員 飯田 正征
- 委員 町田 貴子
- 委員 浜本 武代

総務常任委員会

- 委員長 田中 精一
- 副委員長 油本 朋也
- 委員 井上信一郎
- 委員 前田 栄治
- 委員 池田 捷昭

産業建設常任委員会

- 委員長 飯田 正征
- 副委員長 森本真理子
- 委員 長谷川昭二
- 委員 阪本 和俊
- 委員 宮本 幸美

教育民生常任委員会

- 委員長 町田 貴子
- 副委員長 浜本 武代
- 委員 津川 俊仁
- 委員 斉尾 智弘
- 委員 山下 昭夫

広報広聴常任委員会

- 委員長 宮本 幸美
- 副委員長 斉尾 智弘
- 委員 油本 朋也
- 委員 森本真理子
- 委員 田中 精一
- 委員 浜本 武代

議会選出 監査委員

津川 俊仁

中部ふるさと広域連合 議会議員

井上信一郎
浜本 武代

後期高齢者医療 広域連合議会議員

井上信一郎



町への熱い思い、議論

3会場に70名参加

平成25年6月・9月定例議会の審議内容の報告と、町政全般について町民皆さんの質疑に答える「議会出前座談会」を開催しました。11月22日に大谷、妻波で26日に、みどり西の3自治会で実施し、延べ70名の方に参加いただきました。

今回は、改選後初の座談会で「投票所削減問題」や話題の「大型商業施設の誘致問題」など、活発な質疑応答の場となりました。

大谷自治会

投票所削減の「再考」を申し入れ

問 議会（総務常任委員会）としては「今回の投票所の削減は、選挙管理委員会が進めてしまった。あくまでも責任は選管にある」との説明だが、選管委員を選任した町議会にも、責任があるのではないか。

大谷自治会では、この

案件に対し当初からパブリックコメントを提出したのに、選管からは何らの回答もなく、選管の横暴である。不満と再考の意向を、町議会から選管に申入れて欲しい。

答 事前説明段階からは全員反対した。選管には「せめて該当自治会への丁寧な説明をするように」指摘していたのに、無視されたことは遺憾だ。再度、選管に申し入りたい。

議事録の閲覧は 議会事務局へ

問 ①全員協議会で、は、一般質問のよ

うな町政全般に対する質

疑応答は、おこなわれな

いのか。②各常任委員会

での請願・陳情の審査過

程の議事録はないのか。

あるとすれば、閲覧は可能か。

答 ①全員協議会では、主に町長が提案・提起した個別案件に対して協議する場で、町政全般

についての質疑応答は、本議会の一般質問で行うことになる。②議事録はあり、閲覧は可能である。本会議はインターネットでライブ中継をしてお

り、視聴できる。

拘束力ある 「空き家条例」必要

問 大谷地区内にも「空き危険家屋」が存在し、大変困っている。町は危険家屋等を解体できるような条例制定を検討中と聞くが、強制・拘束力のある条例を望む。いずれにしても、早期対応できるように取組ま

答 一般論として、現行法下では個人資産に対し強制執行の様な拘束力をもった条例制定は、困難性があると聞いている。全国的な問題なので、法改正を国に要望するよう執行部に投げかけた。近々に近隣市町が拘束力のある条例を制定するとの情報があるの

で注目している。

「農業」「商工業」どちらも推進

問 北栄町農業振興地域の見直しがある

と聞くが、大型商業施設のために見直すのか。町議会としては、「農業振興」と「商工業振興」のどちらが重要と考えているか。

答 確かに大型商業施設は、北条・道の駅付近に進出を目ざしており、一部農地の農振除外が必要となるが、今回の見直しは、大型商業施設進出のための見直しではない。定期的な見直しである。議会としては、「農業振興」と「商工業振興」のどちらも推進しなければならないと考え

の所有か。

答 北栄町は、平成24年度に中部町土地開発公社から離脱した。その時点で、その用地を買取り、町有地とした。今後は、金融機関からの金利は発生しないため、「簿価」の上昇はない。むしろ、現在、用地を町外の建設資材リース会社に賃貸しており、賃貸収入により「簿価」は下がっている。

妻波自治会

国保会計は 大丈夫か

問 国民健康保険会計には、毎年、一般会計から赤字補填をしているのか。

答 国保会計は、特別会計で、基本的には国庫からの負担金と加入者（被保険者）の保険料で賄う医療保険事業である。高額医療費等が増えれば、赤字会計になり、運営不能に陥るので保険主体である町が、赤字補填を行っている。医療費を削減するため、健康管理に気をつけていただき、各種検診は必ず受診し、早期発見、早期治療をお願いしたい。

LED防犯灯の 改善を

問 初期のLED防犯灯は暗く、その役目を果たしていない。な

ぜ設置するのが。再点検し、改善の検討をされた

答 「省エネ」の観点

が先行し、実際に

点灯するまでわからな

かった。町に申し入れる

旧免許試験場に 企業誘致を

問 跡地の維持管理費を、早急に解消して欲しい。企業誘致は、困難か。太陽光発電所ではどうか。

答 維持費は、主に除草対策費である。企業誘致の実績は、1件もなく宅地として売却することもむずかしく妙案がない。太陽光発電所は、町の中心地ではもったいない。

ゴルフ練習場 町の関与は

問 飛来ボールが問題となっていて、さつきヶ丘団地横のゴルフ練習場は民間施設であり、町が関与する必要がある

みどり西自治会

空き家対策 条例の制定は

問 今年度中に空き家に対応する条例を制定するのか。経済的な支援制度は、盛り込まれているのか。

答 年度中に提案予定である。条例化しても、強制執行は、難しいと聞いている。助成制度を設けるか等の詳細は、未定である。

太陽光発電事業

問 自治会対象の太陽光発電事業の説明をしてほしい。

答 自治会施設に太陽光発電を設置した場合、約半額を町が補助し、残りを自治会が負担する。約10年後からの売電収入が、自治会の利益となるもの。

町放送はマンネリ

問 町放送がマンネリ化しており、電源を切っている。放送時間の朝六時半は早過ぎる。

答 全町一斉放送なので、現状で協力を

工業団地用地は 町有地化

問 東園地内にある稲場工業団地用地は、現在も土地開発公社

問 町放送がマンネリ化しており、電源を切っている。放送時間の朝六時半は早過ぎる。

問 選挙経費の節減で投票所を統廃合したが、結果、投票率が下がっては、意味がない。期日前投票に送迎バスを出すとか、対応策を検討してほしい。

答 町長と選挙管理委員会に改善を、申し入れた。

料金値上げは 丁寧な説明を

問 下水道使用料の値上げは反対だが、破綻してもいいということではない。もっと丁寧な説明をしてほしい。

答 運営の苦しい自治体は、全国にも多々ある。住民に負担を強いる前に税金で補填している市町村の例もある。政策的な議論が必要だ。丁寧な説明をするよう町に申し入れる。



質疑あれこれ

12月
定例議会

下水道使用料値上げに附帯決議

12月10日から20日にかけて、12月定例議会が開かれました。提案された条例や補正など、16議案及び議員発議の2議案と附帯決議が可決されました。その他、選挙管理委員及び同補充員の選挙と5件の請願・陳情審査がありました。

問 津川 俊仁
政策的配慮により、審議会答申より少ない率での改正とのことだが、借入金の返済が計画どおりいかないなど、経営的な心配はないのか。

答 松本町長
答申にもあるよう、維持管理費等のさらなる経費節減など、経営努力をしよう。

問 田中 精一
下水道事業は、多くの費用がかかる長期的な事業。借り入れの返済は、今の世代だけでなく、後の世代も受け継ぐものと考え、あせる必要はない。

答 松本町長
後の世代の負担は当然あるが、その間には管路やポンプ、処理場の修繕など当然必要になってくる。提案どおりの負担増をお願いしたい。

値上げに疑問 (下水道条例の改正)



赤字経営 火の車! (国民健康保険特別会計)

問 山下 昭夫
医療費の増加は、保険料の負担増に繋がる。どのような対策をとられるのか。

答 伊垢離健康推進課長
検診の受診率を高め、早期発見・早期治療を促したい。また、健康推進員に自治会の核になってもらいたい。

問 長谷川 昭二
検診を受けない方への勧奨は、どのようにされているのか。

答 伊垢離健康推進課長
特定検診については、勧奨通知を出している。胃がん検診など申し込みを拒否して、受けない方には、医療機関でも受診できることを通知している。

賛否あり

下水道条例の改正

反対討論 長谷川 昭二
①住民生活を無視した使用料改正である。
②県内で最も高い料金設定となっている。
③消費税の増税もあり、さらなる負担増となる。

賛成討論 津川 俊仁
下水道事業は息の長い事業。今、処理費の内、使用料は37・2%しか充当出来ていない。早期に一般会計からの繰り入れを減らさなくてはならない。今後、さらなる経費削減を図り、健全会計の堅持が条件の賛成である。

賛成討論 浜本 武代
多額の一般会計からの繰り入れや膨大な借入金の返済など先送りには出来ない、未接続者への加入促進など、経営改善努力を望む。

反対議員

長谷川

賛成議員

浜本・田中・池田・山下・前田
森本・宮本・町田・斉尾・阪本
油本・飯田・津川

請願・陳情審査結果

請願・陳情件名	請願・陳情者名	採決	委員会の意見
消費税の複数税率導入と新聞への軽減税率適用に関する請願	日本海新聞を発展させる会外5者 (紹介議員 津川俊仁・斉尾智弘)	採択 全会一致	食料品などの生活必需品や新聞は、軽減税率を適用すべきである。 →意見書の提出
原子炉の再稼働に反対し、原子力に頼らないエネルギー政策への転換を求める陳情	反核・平和の火りレー鳥取県実行委員長 綱本圭祐	採択 全会一致	原子力発電を基幹とする国のエネルギー政策そのものの転換が必要である。 →意見書の提出

※その他の陳情の審議結果はHPに記載しています。

議案	内容	結果
条例	▶ 地域の元気臨時交付金基金条例 (来年度事業のため、財源を積み立てる基金を設置)	全会一致
	▶ 社会教育委員に関する条例の一部改正 (社会教育法の改正にともなうもの)	全会一致
	▶ 介護保険条例及び後期高齢者医療に関する条例の一部改正 (地方税法の改正により、延滞金及び還付加算金の特例の見直しがおこなわれるため)	全会一致
	▶ 公共下水道条例の一部改正 (公共下水道使用料を平均12.7%引き上げる改正)	賛成13 反対1
	▶ 農業集落排水施設使用料条例の一部改正 (公共下水道使用料改正に準ずるため)	賛成13 反対1
	▶ 浄化槽の設置及び管理に関する条例の一部改正 (公共下水道使用料改正に準ずるため)	賛成13 反対1
	▶ 公共下水道受益者負担に関する条例の一部改正 (地方税法の改正によるもの)	全会一致
	▶ 消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正 (女性団員10名増)	全会一致
補正	▶ 一般会計補正予算(第4号) (大栄庁舎冷暖房設備改修など 5億1,562万円増)	全会一致
	▶ 国民健康保険特別会計補正予算(第2号) (一般会計繰入1億2,600万円増)	全会一致
	▶ 下水道特別会計補正予算(第4号) (下水道管移転681万円増)	全会一致
その他	▶ 水道会計補正予算(第2号) (水道管移転670万円増)	全会一致
	▶ 字の区域の変更 (土地改良事業による瀬戸地区水田の字の区域変更)	全会一致
	▶ 字の区域の変更及び字の廃止 (" " 字の区域変更・廃止)	全会一致
	▶ 「中部ふるさと市町村圏振興事業基金に対する出資金」の権利の放棄 (看護大学設置の北栄町補助金負担分の支出のため)	全会一致
▶ 大栄地区光ケーブル整備の工事請負変更契約の締結 (減額変更)	全会一致	

発議第10号 「下水道条例の一部改正」に対する附帯決議 賛成10 反対4

★審議の過程を踏まえ、下記の事項を十分に配慮されることを強く要請する。
①全体汚水量の削減対策を講じること。②水洗化率の向上を図るため、加入促進策を強力に進めること。
③起債の償還条件の見直しに努めること。④基金の有効活用を図ること。⑤今後は低所得者に配慮すること。

発議第8号 議員報酬の特例に関する条例制定(報酬減額) 全会一致

★地方交付税の減額など町の財政状況を考えれば、議会も財政負担を軽減する必要がある。
①議員報酬月額を3%減額する。

発議第9号 北条川放水路に関する特別委員会の設置 全会一致

★北条川放水路建設に伴う弓原浜地区などの地盤沈下問題は、これまで特別委員会を立上げて取り組んできた。県知事へ要望書を提出し、前向きな回答を得たが、いまだに沈下は、進んでいる。解決を迎えるその日まで、引き続き取り組むため、再度特別委員会を設置するもの。

投票所の数

従来に戻しては

答「経過を見守る」

答「移動支援バスを検討」

町長 現在検証を行っている。その経過を見守りたい。

町長

森本 高齢者や車に乗れない方が大変困っておられる。人にやさしいまちづくりから逆方向に向かっていくように思える。投票の時間を短縮する等して、人件費を抑え、従来の投票所数に戻してはどうか。

森本

高齢者や車に乗れない方が大変困っておられる。人にやさしいまちづくりから逆方向に向かっていくように思える。

選挙管理委員長

平成27年に実施予定の県知事・県議会選挙においては、移動支援バス等の試験運行を検討したい。投票時間短縮のメリットは、経費節減や立会人の負担軽減、有権者に、より早く開票結果を知らせることができる等が考えられるので検討したい。



森本 真理子



池田 捷昭

池田

年々高齢化が進み

体の不自由な方もおられる。期日前投票所を北条庁舎にも設置してはどうか。経費節減のためには、投票時間午後8時までには必要ない。短縮される考えはないか。

選挙管理委員長

両庁舎の期日前投票所における投票者数、投票所の設置経費、距離と道路の整備状況等を検討し大栄庁舎一カ所に変更した

経緯がある。2カ所の設置は考えていない。投票時間の短縮はメリットがあり検討したい。



町政

ここを問う

12月定例議会では、12人の議員が25問の一般質問を行いました。

投票所の見直し

削減に不満

答「選管の検証に注目」

答「266万円の削減効果」

前田

①町議選 挙前、期

間中には投票率低下への懸念や投票所数の削減への不満、疑問、意見をたくさんいただいた。どのように思われたのか。
②経費削減、立会人の確保が困難等の考えか

ら投票所数を大幅削減された。
ア、前回町議選からの削減額は。
イ、立会人の確保に向けていつもと違う確保は。
ウ、投票率の結果への総括は。

前田 栄治

町長

①7月の参院選の投票

率は67・3%で、前回選挙より6・7%下がった。しかし鳥取県全体の結果も6・9%下がった。10月の町議選は71・9パーセントで参院選を上回った。投票率の変動は、投票所の変更により起こるものではなく、その選挙への関心度が影響している。投票所の削減で不満や懸念の声は、承知している。現在、町選管で選挙結果をもとに分析・検証をしているので、見守りたい。

選挙管理委員長

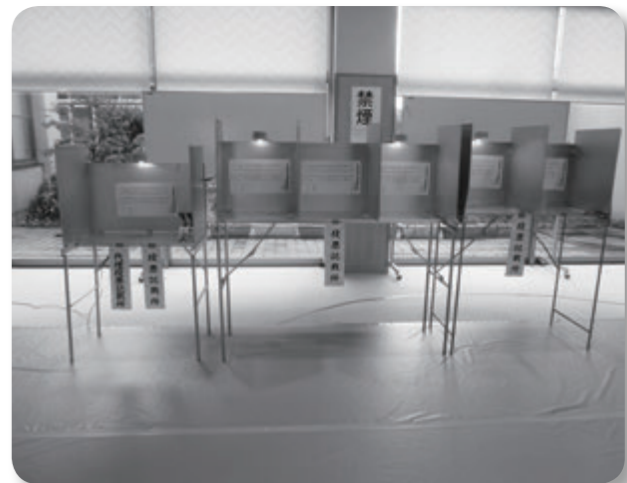
②ア、前回と比較して、約266万円25%の削減となった。削減の大半は人件費で、投票所関係で55人、開票関係で30人の計約200万円の削減であった。
②イ、公募を実施し、新

たに17人に加え55人の登録者数となった。立会人の偏りがなく、今後とも公募を周知し、幅広い有権者層の立会人を確保したい。
②ウ、分析中であり、頂いた町民の意見と検証を行ったうえで、次回の選挙に活かしたい。

期日前投票所

北条庁舎にも設置

答「2カ所はない」





前田 栄治



町長

①企業誘致は、積極的に促進したい。税金を投入しても、その後に誘致企業からの固定資産税や法人住民税、また雇用創出による町内雇用の個人住民税の増収や集客による周辺地域のへの波及効果などで、初期投資は回収できる。地元から多くの方を採用するよう、働きかけたい。

町長の政治姿勢 企業誘致と庁舎統合

答「商業施設を誘致」

答「26年夏に庁舎統合案」

前田

①企業誘致のため、予定地の調査費として約1,400万円を予算化した。インフラ整備や税金減免など優遇する以上、多くの正規雇用が必要と考える。

②大栄庁舎の改築や会議室、更衣室、駐車場の増設に4億円必要とのこと。北条庁舎は耐震補強が必要であるため今後のあり方、分庁窓口の存続など、庁舎統合について、公約である「後援会のしおり」に掲載していないのはなぜか。

②庁舎統合は、これまでの議会答弁や地域座談会、町報等でその必要性を表明している。平成23年に約4億円の概算事業費を提示しているが、現在、より具体的な整備内容、事業費等について精査している。平成26年夏頃には具体的なスケジュールを提示したい。

町長の政治姿勢 徹底した行政改革を

答「住民目線にたった町政運営」

池田

①地方交付税特別

加算の期限がきり、大幅な交付税の減少で財政の悪化が予想される。徹底した改革を。②事業仕分けの目的と効果は。③山陰道の県内全線開通が視野に入ってきた。本町が通過点にならないか。

町長

①町長と職員がまちづくりビジョンの達成に向けて共通認識で同じ方向に進むため、各課の課題を協議し、公平で公正な住民目線にたった町政運営に取り組んでいる。今後財政状況は非常に厳しくなる。重点事業を整理し、経費の削減と合わせ歳出の抑制に努める。②事業本来の目的を明らかにし、町民にとって真に効果的かつ効率的な事業となっていないか。



池田 捷昭



11月実施の事業仕訳

予算編成

主役は生活支援

答「町民主役の予算編成」



長谷川 昭二



長谷川

町民の暮らしの実態を把握し、町民生活への支援を主役にした予算編成にすべき。

町長

平成24年度

の決算では子ども園の運営など生活保護、児童福祉などの「民生費」が最も多く、下水道会計や国保会計などへの繰り出しも多い。町民主体の予算編成・執行をしている。今後も、限られた予算の中だが、受益と負担をお願いしながら、町民が主役の予算編成を行う。

下水道使用料の値上げ

生活できない

答「公共サービスに悪影響」

問

来年度消費税も上がる。国

保税が上がると、このように時に町民の暮らしを考えない下水道使用料の値上げはすべきではない。

町長は町民の暮らしの実態を把握していない。低所得者や年金暮らしの方は生活できないという声も聞く。

町財政の健全化だけを考えたような値上げはすべきではない。

町長

下水道使用料金の平均負担を先送りすることなく、サービスを受けている人に負担をお願いしたい。痛みを分かち合っていたきたい。

下水道使用料金の平均負担を先送りすることなく、サービスを受けている人に負担をお願いしたい。痛みを分かち合っていたきたい。





山下 昭夫

山下

24年度決算を見る

と、町の地方債89億6、400万円、下水道事業債79億9、831万円、一般会計からの国民健康保険会計に繰入1億3、559万円、下水道会計に繰入6億6、531万円となっている。これからの町財政運営は大変厳しいのではないかと。



町長

財政状況の良否を判断

するポイントである実質収支は毎年黒字を続けている。平成24年度の一般会計地方債残高は合併時と比べ13億円強減少、財政基金は増加し財政運営は堅実である。今後、地方交付税の特例加算が平成28年度から段階的に減少し、平成33年度になくなる。社会保障費の増加も懸念される。歳入の減額が迫っている今、一層の業務の見直しが急務である。



浜本 武代

浜本

町民に「協働のまちづくり」の自覚や理解がされているか。

町のイベントや事業に町民・職員・議員の参加がともなわなかった。町民誰もが参加できるように、内容や時期などの精査を役場全体ですること。

町長

「協働のまちづくり」

は町民・地域・行政が一定の役割をもって、ともにまちづくりをする。町民への一層の理解を求め努力する。イベントや事業の成果・必要性の検証や実施時期と内容が町民の参加意欲と合致するか十分なる精査が必要と考える。職員にも積極的な参加を呼びかける。



協働のまちづくり

町民誰もが参加を

答「内容・時期を精査」

町政のことを問う

財政運営

厳しい町財政

答「財政運営は堅実」

新規就農者支援

ブランド作物を生かして

答「定住出来るよう支援」



森本 真理子

森本

後継者不足、農家の高齢化等で遊休農地も増えているのが現状である。北栄町のブランド作物を生かし、若者の定住を目指し、将来安定した生活が送れるよう、新規就農者に支援してはどうか。



町長

町独自の事業として

新規就農者の相談に応じる経営サポート事業に取り組む、中古農機具や空き家の登録を呼びかけている。新規就農者が生活を安定させ、定住ができるよう引き続き、策定予定の農業振興基本計画や事業の中で取り組んでいく。

農業問題

小規模農家の支援は

答「営農計画をしつかりと」

飯田

小規模農家にも農業機械は必要だが、高額で採算がとれない。町に2台あるトラクターも順番待ちである。トラクターを増備し、また必要な農機を購入し、リースしてはどうか。

町長

使用しなくなった中古の農機具を、農業経営サポート事業により募集している。

営農計画がしっかりしていれば規模に関係なく、適当と判断されれば必要な支援はするが、できれば大規模化への検討をして欲しい。



飯田 正征



町政のことを問う

北条川放水路

お年寄りの不安解消を

答 「誠実かつ丁寧に」



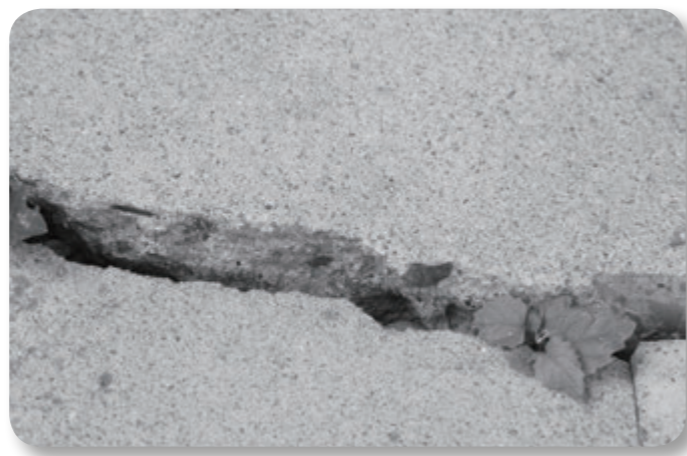
池田 捷昭

池田

地盤沈下による工事損害対象者46戸の内、30戸が県に補償申請を行っている。申請者と見積もり食い違いが生じている。特にお年寄り等の生活不安解消が急務ではないか。

町長

今後の事業について、県は誠実かつ丁寧に対応されている。地区の対象戸数の調査申出戸数は32戸で、調査済戸数から補償額を提示し聞き取りを行っている。地区住民の方が納得していたら、誠実かつ丁寧な対応を心がける。



地盤沈下によるひび割れ(弓原浜)

夢と希望のある農業

新たな振興計画は

答 「攻めの農業を展開」



斉尾 智弘

斉尾

「夢と希望のある農業」を踏まえた上で、現在検討中の新たな計画は、どのようなものか。

町長

農業を本町の基幹産業と位置づけした、農業のまちづくり条例を策定し、農業振興基本計画の策定に取り組んでいる最中である。攻めの農業を展開していくよう決定している。今後は具体的な施策などについて協議していく予定である。



町政マニカを問う

危険建物

一刻も早い撤去を

答 「3月議会に条例提案」

田中

火災後の工場跡が、平成23年5月から放置されている。近隣住民や大栄小学校PTAから撤去要望が出されている。なぜ撤去できないのか。また、町内では「危険空き家屋」の放置問題が深刻化している。解決するためには、法的手段が求められている。どのような解決策を講じようとしているか。

町長

再三、火災工場の関係者に「焼け跡の処理」を要望しているが、応じてもらえない。剥がれ落ちそうなトタンをJR、町、県、消防署の4者で撤去した。周辺住民の協力を得て県景観形成条例の「景観支障物件の除去のための措置申し立て」を検討したい。3月定例議会に行政代執行の規定を盛り込んだ条例案を提案する予定である。



田中 精一



北条砂丘風力発電所

更新か撤去か

答 「更新は考えていない」

問

風車の寿命がくれば更新か、取り壊し撤去か、具体的な方針は。監査委員から指摘の線外償還はできないか。

町長

耐用年数は20年とされている。普段から故障修繕に対する速やかな対応が必要と考えている。大規模な故障修繕は4年に1回想定し、重要な機器等を定期的に交換している。速やかな交換のため予備の部品を年次的に購入している。良好な維持管理に努め延命化を図るが、更新は考えていない。起債の償還も平成26年度には一部繰上償還を行いたい。平成30年度に完了予定である。



町政マニカを問う



田中 精一

消火栓の移転

使いづらい地下式

「移転には自治会負担伴う」

田中

高齢者の方から

「地下式消火栓は使いづらい。地上式に移転できないか」との体験発表があった。もし火災時の初期消火に間に合わなかったとしたら、何のための消火栓か。

町内に28カ所ある地下式消火栓を、順次、「地上式」に移転してはどうか。その際の移転費用は、全額町費負担すべきではないか。



道路にある地下式消火栓

町長

地下式消火栓は、確かに

に使いづらい面はあるが、使用できないことはない。日々の訓練で、蓋の開け方や使用方法を熟知・習得されたい。

従来から消火栓の移転には、自治会負担が発生するが、要望される自治会があれば、対応したい。自治会負担の免除は、考えていない。

瀬戸バイパス この道、危険

「不具合があれば改善」

油本

①冬季の瀬戸バイパスは

バスは、吹きさらしで凍結しやすく、側道との段差がなくわかりにくい。ガードレール等の対策を早急にすべき。②由良川橋西詰交差点、南から見た信号に青がないのはなぜか。西側からの右折を矢印信号にしてはどうか。

町長

①瀬戸バイパスは、凍

結防止剤の散布を予定している。この冬の状態を見て、不具合があれば改善する予定である。ガードレールの必要性は低いと思われる。②当該箇所はJ.R踏切が近いので、安全確認のため黄色点滅にしている。青色矢印は、交通量を考えると必要ないと思われる。



油本 朋也



町有財産

維持管理と処分

「積極的な売却促進」



阪本 和俊

阪本

①空き家

いる東保育所と中央保育所の今後は、②北条砂丘振興基金を活用した大型店舗の誘致は、③東園稲場団地は、政策料金を設定してでも民間の業者に払い下げるべきでは、④県立美術館構想が動き出した。旧免許試験場跡地を無償提供し、候補地として手を挙げ

てはどうか。



旧東保育所

町長

①東保育所跡について

は、農家レストランの検討を、中央保育所は未定だが、取り壊しも視野に検討している。

②大型店舗の誘致については、土地の整備は町で行い、必要な準備を進めている。

③東園稲場団地の一部は民間業者と賃貸契約をしている。適正な価格で売却を進める。

④どういう形になるか県からは聞いていないが、町民や議会の理解を得ながら誘致したい。

由良宿3区の轍

急げ町道修理

「新年度から整備」

問

①近年、砂丘

に飛砂が堆積し、交通の妨げになっている。大量の砂が移動するため作物の栽培にも悪影響が出ている。防風、防潮、砂防を目的とした保安林の松が枯死したことが大きな原因である。

②由良宿3区地内の車の轍が5年も前から放置されている。通学路にもなっており早急に修理が必要ではないか。

町長

①町道総延長約350

kmの内、自治会からの要望や住民からの損傷報告によりある程度把握し、緊急度及び優先度により、年間修繕計画を立て随時修繕していく。

由良川西の砂丘畑幹線

道路の飛砂は、マラソンコースにもなっており、現場巡視より随時、砂の撤去を行う。②由良宿3区町道「六尾大谷線」の轍については大規模な改修が必要である。新年度から整備する予定である。



飛砂が堆積した町道



飯田 正征

いじめ問題

アンケートの分析

答 「一部で減る傾向」

飯田

① いじめアンケート

トの結果を前回と比較して分析しているか。
②問題に取り組んでいるかなか、発生した事案についてどう考えているか。
③毎月アンケートを実施している北条中での面談の成果はどうか。

教育委員長

① いじめは特に学年で減る傾向がある。
②報告された事案を教訓にして、いじめが起こる構造、児童・生徒の心理を見抜く目を持ち、指導、対応をしていかなければならない。
③一人ひとりから詳しく聞くことにより、個別の問題の解決につながっていると考える。



町政マゴを問う

介護保険

なぜ高い保険料

答 「給付費の増大」

町田

①高額な介護保険料

料の要因と対策、効果は。
②いろいろの郷、なごみの郷のような施設を増設、デイサービスを宿泊できるような施設にしては。

町長

①要介護中

度者(2・3)の割合が全国、県より高く、一人当たりや第4期(平成21~23年度)の介護給付費が増大したため。県内で初の「地域ケア会議」を平成22年度から取り入れ、ケアプランの作成で自立支援の目標を設定し、効果的サービスを検討している。
高年齢者のニーズに対応し、自立支援に取り組み、保険料上昇の抑制につなげる。
②国は在宅を進めているがニーズがあれば施設と協議したい。



町田 貴子



障がい者雇用

町内事業所の実態は

答 「4社が達成」

問

「障害者の雇用の促進等に関する法律」では、障がい者の雇用の割合が一定率以上になるよう企業に義務づけている。①企業への雇用促進はどうしているのか。
②障害者自立支援作業所への支援は、どうしているか。

町長

①町役場は法定雇用率

を達成している。また50人以上の企業は6社あるが4社が達成している。企業への雇用促進はしていない。
②障害者自立支援作業所への支援は、町内の施設の掃除をしていただいたり、作業所で作られた物品を購入して、各種イベントの時に参加者に配布している。今後も取り組んでいきたい。

外出支援事業

緊急時に使えない

答 「人と車の手配がつけば」



斉尾 智弘

斉尾

外出支援事業では

一週間に一往復まで要介護要支援状態である方、または障がいのある方が、一週間前までに予約をすれば、中部地区の医療機関へ送迎するサービスを提供している。このサービスを緊急時に、予約なしで使えるようにならないか。



町長

この事業は

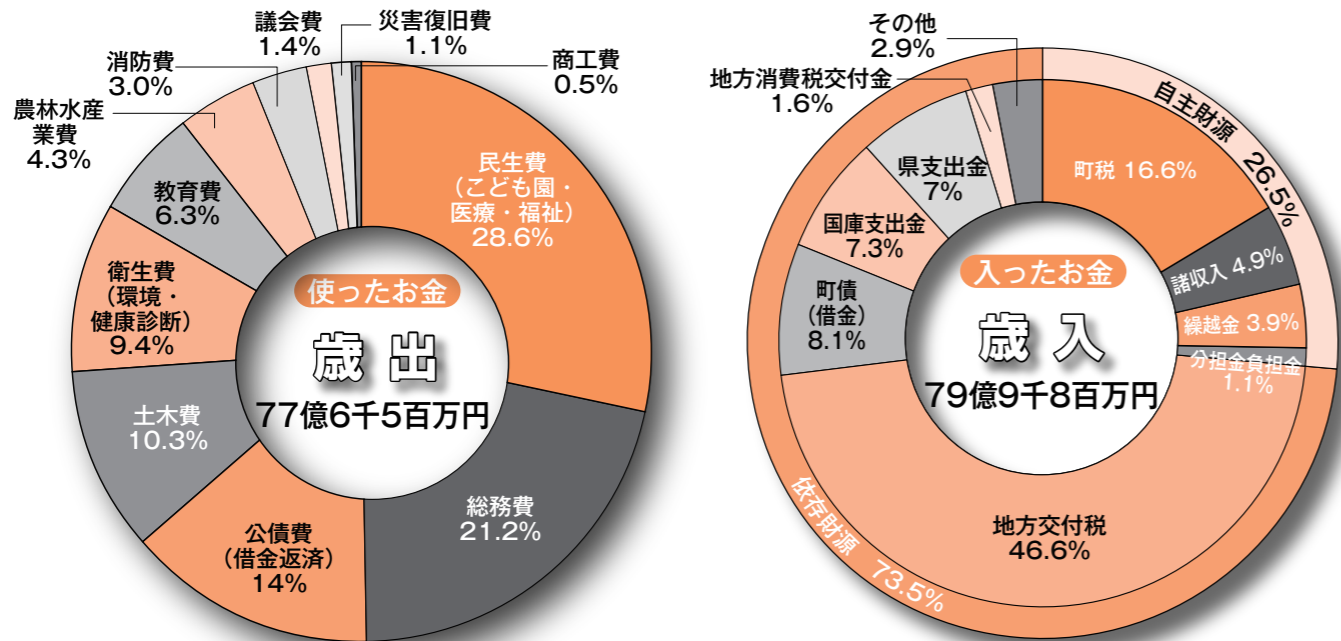
議会に事業委託している。朝8時~夕方5時まで運転手や車の手配がつけば対応できるが、実績はゼロである。
緊急時は万が一というところもあるので、できるだけ救急車あるいはタクシー等を利用していただきたい。



町政マゴを問う

9月6日から19日にかけて、9月定例議会が開かれました。決算審査では、平成24年度の一般会計ほか10の特別会計と水道事業会計について審議され、すべて認定されました。また提案された条例や補正予算など、13議案及び議員発議の1議案が可決されました。その他、2件の請願と5件の陳情審査がありました。

一般会計決算



こんな事業もやりました。

- 情報化推進整備事業 (大栄地区光ケーブル整備) 2億8,081万円
- 農地・農業用施設災害復旧事業 (台風による農道災害復旧) 3,178万円
- 国際まんがサミットイベント事業 (関連イベント実施4団体への補助金) 243万円
- 広域連合負担金 (火葬) 事業 (新斎場への建設費ほか) 1億7,121万円
- 東園工業団地土地購入事業 2億3,262万円
- 生活保護扶助事業 1億3,215万円
- 自立支援 (障がい者) 給付事業 3億971万円

主な特別会計	歳出
国民健康保険事業	18億7,721万円
介護保険事業	15億7,337万円
下水道事業	12億0,507万円
風力発電事業	3億1,764万円
大栄歴史文化学習館	4,692万円
後期高齢者医療事業	1億4,266万円
水道事業会計 (収益的+資本的)	4億5,324万円

発議第7号

道州制導入に断固反対する意見書の提出 全会一致

★道州制導入により、住民と行政との距離は格段に遠くなり、住民自治が衰退してしまう。効率性や経済性を優先し、地域の伝統や文化、郷土意識を無視する道州制の導入には断固反対する。

ファン交流イベント「剛昌先生の本音」



剛昌先生ファン交流イベント「剛昌先生の本音 - ホントの声 -」

障がい者施策

積極的な雇用を

答「支援体制の充実を図る」



町田 貴子

町田 「障がい者計画」の見直しでニーズ調査が実施された。その結果と今後の対策は、町内業者に啓発し障がい者雇用の積極的な取り組みを。

町長 調査結果からは、家族支援者の高齢化や低収入による経済的不安があるなどの課題や問題点が見えてきた。また、前回の調査に比べ行政の障がい者施策に期待が高まっている。

今後、地域の「あいさポート運動」や生活支援センターの支援の充実、雇用、経済支援など計画に反映させ、改善していく。



町政ここを問う



浜本 武代

浜本 「一人ひとりの人権が尊重される」北栄町になるため、「人権を学ぶ会」を実施している。13名の推進指導員では負担が大きい。増員して理解者を増やし、人を大切にする住みよい北栄町に。

教育委員長 人権問題を自分の問題として捉え、解決に向けて地域で「人権を学ぶ会」を実施している。住民主体の人権尊重のまちづくりを進めるため、増員を目指して取り組む。

答「増員を目指す」

人権教育推進指導員 負担が大きい



人権教育推進指導員会議

9月議会 町政 ここを問う

9月定例会では、9人の議員が19問の一般質問を行ないました。



大誠町民体育館



向山団地

一般会計 決算

問 前田 栄治

町道の除草などの維持管理費が少ない。自治会間の道路の除草など出ていないのではないのか。

答 松本町長

道路機能が十分果たせるよう、計画的に除草を実施していきたい。

問 宮本 幸美

49自治会には、敬老会事業費補助金が出ているが、その他の自治会には補助は出していないのか。

答 鎌田福祉課長

この補助金は、自治会として敬老会を実施されたところに出しており、実施されていない自治会にはない。

問 石丸 美嗣

北条小学校に設置されている太陽光発電パネルについて、その後の導入効果と発電量は。

答 西村教育総務課長

環境教育のために導入したものの、エネルギーの節減意識が高まるなどの効果が出ている。発電したものは校内で消費され、余剰があれば売電している。



下水道事業 特別会計決算

問 井上信一郎

処理場の包括的民間委託により維持管理費の節減効果があった記載があるが、平成23年度に比べ、平成24年度決算では増加している。どのような節減効果があったのか。

答 飯田地域整備課長

建物修繕や機械更新があったため、費用は増加しているが、1㎡あたりの処理費用は下がっていることと効果があつたと記載している。

農業のまぶしぐり条例

問 長谷川昭二

条例にある町の農業振興計画はいつ頃までに作成するのか。

答 手嶋産業振興課長

いろいろな方からの意見を聞いたうえで、平成25年度末には作成する。

一般会計 補正予算

問 津川 俊仁

乗り合いタクシー補助金の補正予算が計上されているが、これは周知が広がって、利用が増えたことによるものか。また、タクシー助成事業の周知方法は。

答 谷口政策企画課長

今回の補正は、通院利用による特定要因によるもの。タクシー助成事業は、自治会長や地域座談会や広報で周知をはかってきたが、さらに進めたい。

町営住宅 早急に対策を

宮本

耐用年数が近づいている北条地区の向山団地、中央団地は早急に対策をとるべきと考えるが。

町長

それぞれ耐用年数を待って中央団地については譲渡、向山団地については用途廃止を行う。向山団地入居者の方や、中央団地入居者で譲渡を受けられない方については今後、他の公営住宅や民間住宅への斡旋を行うこととし、現在、用途廃止実施要綱等を作成しているところ。

体育施設の 有効活用を

石丸

大誠町民体育館は、現在でも多くの利用者があり、存続の方向で屋根の修復を行い、有効活用を図るべき。修復の後、社会福祉協議会に譲渡し活用していただくことも選択肢の一つである。

町長

通常の維持管理の範囲内で修繕をしつつ、できる限り使用を続ける。ただし、雨漏りなど施設を大幅に改修する必要がある場合は、行政改革プランに基づき、整理していく方向を考えている。協議会にはすでに譲渡を提案し、経営上の課題により受け入れはできないと回答をいただいているが、再度話をしてみる。

表彰規定の見直し

問

表彰し、讃えることが意欲の向上、スポーツの振興につながると思うが、表彰規定の見直しは検討されたいか。

教育委員長

「北栄町スポーツ推進審議会」を開催し、「北栄町スポーツ表彰に関する要綱」について検討のうえ、町長部局とも協議し、見直し案等を作成したい。

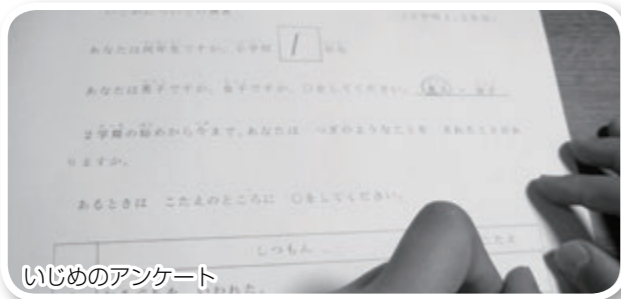


北栄町スポーツ表彰表彰式の様子

請願 審査 結果

請願件名	請願者名	採決	委員会の意見
大誠町民体育館存続屋根錆傷に伴う塗り替え工事を求める請願	瀬戸自治会長 鎌本伯竹 (紹介議員 石丸美嗣)	採択 全会一致	利用実態から、社会福祉協議会への譲渡も考慮して、補修を実施すること。 →町に通知
近隣ゴルフ練習場より飛来するゴルフボールに関する請願	さつきヶ丘自治会長 田宮協 (紹介議員 池田捷昭)	採択 全会一致	住民の安心安全な暮らしのため、町として出来る最大限の対応をとられたい。 →町に通知

※その他の陳情の審議結果はHPに記載しています。



いじめのアンケート



地盤沈下により傾いた土台



充電器の利用は

石丸

平成21年度に460万

円で電気自動車の充電設備を導入し、積極的に地球温暖化対策に取り組んできたが、その効果と実績は。

町長

ふるさと館 駐車場に整備した急速充電器の利用台数は、平成23年に比べてのびている。また、県内の電気自動車の登録台数の推計は平成23年10月の94台から平成25年4月には252台となっている。充電器の整備と併せて、電気自動車の普及も進んできている。国道9号線の県内中間点であるふるさと館駐車場への設置は、要になっている。

放水路による地盤沈下

池田

弓原浜自治会の地盤沈下が発覚してから数年経つが、なぜ今まで対応されてこなかったか。また、分水堰、水路橋、河口開削の一体的管理をしなければならぬと考える。

町の今後の対応と、独自で弓原浜に対する支援の考えは。

町長

町としては、これまでも県中部総合事務所長や県土整備局長をはじめ、機会ある毎に関係部署へ働きかけを行ってきた。引き続き問題解決に向け取り組んでいく。一体管理は県と連携し対応する。町独自の支援策としては、健康被害等があれば保健師の派遣を考えている。

複式会計の導入を

問

風力発電事業は、実情を把握し、

耐用年数を延ばすことが重要と考える。今後の投資計画でも企業会計(複式)にした方が、わかりやすいのではないかと。

町長

企業会計の導入は経営状況が分かりやすい等の点はあるが、風力発電は継続性がなく限られた期間での事業で、かつ主要な資産の入れ替えが殆どないので、メリットは少ないと考えている。将来的なシミュレーションにより、収入については売電収入を、支出については運転管理費や借入金返済額等を、収支差引については基金残高を分かりやすく示して、これまでどおり特別会計でいきたい。

海士町と比較して

問

海士町では、「町長自ら身を削らない改革は支持されない」との考えが、基本姿勢に表れ、諸施策の原点となっている。本町と比較してどのように考えるか。

町長

全国の特徴的な取り組みについては情報収集を行い、本町で実施可能な取り組みについて調査研究を行っている。参考になるようなものがあれば実行してみたい。



空き家対策は

飯田

空き家対策について町

長は、平成24年12月の定例議会で、「先進地を参考にしながら、条例制定に向け検討する」とのことであったが、その後の進捗状況等は。

町長

視察も行った庁内関係課で立ち上げた検討会で話し合いを重ね、条例を制定したい。年内に素案をまとめ、町民の意見を聞きながら、3月議会に上程したい。「空き家対策特別措置法」がこの秋の臨時国会に提案される予定の新法と、条例に食い違いのないよう動向を注視していきたい。

いじめの根絶へ

問

町内小・中学校で5月にいじめ実態調査が実施され、実態が明らかになった。いじめの根絶に向けて、調査の分析と今後の指導方針は。

教育委員長

指導方針として、

①学校いじめ防止基本方針の策定を行う。②いじめの未然防止にむけた「いじめを生まない学校づくり」に取り組む。③実態調査の実施や日常の観察等を今まで以上にきめ細やかに行っていく。④早期発見と対応に努める。⑤教育委員会は、学校の実情をよく把握し重大ないじめについては迅速で誠意ある対応をして行く。

災害補助率の見直し

長谷川

災害を受けた農地の復旧事業に対する本町の補助率は、事業費が40万円未満で国の補助がない場合、50%となっている。県内の他市町では85%にして農家負担を低くしているところがある。補助率を見直す考えはないか。

町長

国庫補助の対象とならない小規模な災害復旧事業は、町単独補助で対応するよう計画している。ただし、災害の規模が甚大で「激甚災害法」に基づき、町が指定された場合には、町が80%、地元は20%となるよう措置している。

制度の周知と明確化

問

就学援助制度の周知、給付内容の具体的な明示、認定基準の明確化と認定の目安額の周知、申請しやすい手続きは。

町長

本町の認定の基準は、

生活実態を加味し援助を必要としている方へ配慮したものであり、基準の明確化に加え運用の柔軟性も備えたものとなっている。今後、より一層わかりやすい周知に努めたい。

教育委員長

周知の方法としては、

年度初めに就学援助の制度概要と申請方法を町報へ掲載し、新入学児童は就学前健康診断時に、在校生は年度初めに全保護者に、チラシを配布して





作業単価が低い

津川

大栄地区で伝送路改修工事が行われているが、進捗状況は。宅内工事の作業単価が極端に低く、進捗に影響が出ているそうだが、行政として責任はないのか。

町長

8月31日現在の工事全体の進捗率は、計画の66・9%に対し、実績73・2%となっており、予定どおり進んでいる。作業単価は、受注業者と宅内作業請負業者との契約によるものである。工事進捗への影響は出ていない。

解放月間の取り組み

問

7月10日から8月9日に「部落解放月間」各種事業が取り組まれた。今年の取り組みの成果と課題は。

町長

本年度は啓発用のチラシ・告知放送による啓発、講演会の実施、県研究会への参加などの取り組みを行った。

教育委員長

多くの方々に参加していただくことで、人権に関する正しい理解を着実に深めている。現実に人権侵害の事象なども起こっている中で、これらの問題が解消されるよう引き続き取り組んでいく。

町の進むべき道

奥田

北栄町の進むべき道を明確にしているのか。また、町づくりビジョンの達成は、本当に必要なことなのか。

町長

今後10年程度の中期の歩むべき道筋として、『北栄町まちづくりビジョン』を策定した。このビジョンでは、まちの将来像を「人と自然が共生し豊かな豊かさを実感するまち」と定め、これからは経済的な豊かさだけでなく、心豊かに暮らしていることを実感するまちづくりを目指している。

教育現場の連携といじめ

問

3月定例会で、学校教育と社会教育の連携をするとのことだったが、どのような取り組みをされたのか。いじめについて、町の状況は。

教育委員長

学校と地域・家庭の連携では、朝の定時放送の児童による「挨拶標語等の放送」や「あいさつ通りモデル自治会事業」、「自治会等地域での学習活動支援事業」、「家庭教育12カ条」の振り返りシートの作成等を実施している。

いじめについては、5月に小中学校全児童生徒に実施した調査結果で、いじめの回答はあった。しかし、無記名方式のため、回答内容の詳細を確認することはできない。

経営塾で育成

奥田

北栄町ブランドの農産物を守るため、栽培技術の継承、栽培面積の維持が大切だ。また、調査研究や、市場調査、経営管理に関する能力の必要性と農業経営塾の展開は。

農業委員

スーパーブランドを目指し、高品質化、単位当たりの増収、省力化など新しい農法、仕組みが求められている。そのためには情報の収集、共有する場を積極的に設けることで栽培技術の継承と同時に新しい農業の姿を模索すべき時が来た。若い担い手を中心とした農業経営塾は、有効な手段と考える。

庁舎統合は必要

井上

少子高齢化による人口減少が著しい中、経済的・機能的な耐用年数を理由に、公共施設の更新は財政上困難となってくる。公共施設の効率的な運用に努めていくうえで、庁舎統合は必要では。

町長

合併から約8年が経過し、少子高齢化、災害への対応等、合併当時からすると社会情勢は大きく変わってきており、現在の情勢において庁舎統合を行うことは「必要」であると考えている。今後、議会、町民の皆さんの意見を十分伺い、合意の上で進めさせていただきたいと考えている。

風力発電の今後を見据えて

浜本

風車の建設から9年が経過しようとしている。万が一に備え、保守契約が17年間であることなどを考慮して現体制を再考しては。

町長

今後は経年劣化等により、故障修繕や部品交換が増加することが予想される。適切で迅速な維持管理及び修繕工事を行うため、現電気主任技術者の後任者を確保する。特別会計の経理と普及啓発及び企画立案の事務関係について、職員体制の見直しが必要と考えている。

環境負荷の低減

問

平成30年度中にはクリーンランドほうき(最終処分場)が満杯になると予測されている。この現状を町民の皆さんに啓発し、処分場の延命化とごみ処理費用と環境負荷の低減を図ってはどうか。

町長

現在の一般廃棄物処理システムを継続すると、平成30年度までに最終処分場が満杯になり、増設が必要となる。

この課題の解決に向け、広域連合では最終処分場の延命化を図るため「ゼロ・エミッション推進計画」を策定した。重点的に取り組む廃棄物として、焼却灰、小型家電、生ごみ、紙ごみ、紙おむつ等の廃棄物の排出抑制・リサイクル推進に向



クリーンランドほうき (最終処分場)



学校現場からいじめの事実としての報告は出ていないが、結果は結果として受け止め教育委員会、学校全職員で情報を共有し、子ども達の日常生活に注意を払い、早期発見・未然防止を図るよう努めたい。



女性として議会に 期待すること



米田東恵さん
(下神)

昨年の10月に町長及び町議会議員の選挙が行われ、今回は議員さんが思ったより多く代わられました。その中でも特に女性議員が3名選出され、私も大いに期待と注目をしているとところです。年に何回かは議会傍聴をしています。是非、町民の声に耳を傾けて積極的に取り組む信頼のける議会議員であってほしいと思います。



◀ 12月 定例議会
一般質問 傍聴の様子

次の定例議会は3月です。
傍聴・ご意見お待ちしております。

Tel (0858) 37-2445
Fax (0858) 37-5339
E-mail gikai@e-hokuei.net

知っとなる?こんな北栄

由良藩倉名残の1本松 (由良宿2区)



由良宿2区遠藤酒店の倉庫前にあるこの1本松は、由良藩倉の名残です。当時の写真が近くの案内看板に載っていますので、比較しながら一度ご覧になってください。

旧北条中学校跡地記念碑 (国坂)



昭和22年に旧軍用地(国坂字西大野)に建てられた旧北条中学校は、昭和47年4月の北栄中学校実質開校までの間、およそ3,800人の生徒を送り出しました。※昭和52年7月記念碑建立

表紙写真
北栄町消防団出初式
「天高く 力強く」
1月5日撮影

発行責任者
議長 井上信一郎
編集
広報広聴常任委員会
委員長 宮本 幸美
副委員長 斉尾 智弘
油本 朋也
森本真理子
田中 精一
浜本 武代

編集後記
改選後、初めての議会
だよりです。
広報委員も新たなメンバーとなりました。
町民皆さんに愛読される議会だよりとなるよう、全委員で取り組んでいきますので、ぜひご意見をお寄せ下さい。
宮本 幸美